



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

27日

米中対立の激化懸念などを手掛かりに、全般ドル売りが進んだ。FOMCを控えて思惑的なドル売りも広がり、ドル円は一時105.12円まで値を下げた。

28日

米中対立の深刻化や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う米経済の先行き懸念から、ドル円も株安とともに売りが優勢となった。一時104.96円まで下押しした。

29日

ドル円は105.00円を挟んだもみ合いとなっていたが、FOMCで低金利が当面続くとの見方が広がると全般ドル売りが活発化。104.77円まで売りに押される場面も見られた。

30日

ドル円はアジア時間こそ5・10日(ゴト一日)の仲値に向けた買いなどが入ったものの、その後は伸び悩む展開に。4-6月期米GDP速報値が過去最大の減少となったことを受け、米景気の不透明感が強まると、ドル売りの流れに沿って104.68円まで反落した。

31日

ドル円は株安を背景に一時104.19円と3月12日以来の安値を更新。ただ、その後は月末のロンドン16時(日本時間24時)のフィキシングを控えた持ち高調整目的の円売り・ドル買いが入り、106.05円まで一転上昇した。

総括

先週のドル円は下値の堅い動きとなった。米中対立の激化懸念や米経済の先行き不透明感などを材料に、週明け7月27日から円買い・ドル売りが先行。29日のFOMCで低金利政策が当面続くとの見方が改めて確認されたことも相場の重しとなり、週末31日のアジア時間には104.19円まで下落する場面も見られた。ただ、その後は月末のロンドンフィキシングに向けた買い戻しが優勢に。足もとで急速にドル安が進んだ反動もあり、目先のストップスを誘発して一時106.05円まで切り返した。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
27日	21:30	月	USD	耐久財受注	前月比	6月	15.8%	6.8%	7.3%
29日	27:00	水	USD	FOMC政策金利	*	*	0-0.25%	0-0.25%	0-0.25%
29日	27:30	水	USD	パウエルFRB議長会見	*	*	*	*	*
30日	21:30	木	USD	GDP速報	前期比年率	4-6月期	-5.0%	-34.5%	-32.9%
31日	18:00	金	EUR	GDP速報	前期比	4-6月期	-3.6%	-12.0%	-12.1%
31日	18:00	金	EUR	HICP速報	前年比	7月	0.3%	0.2%	0.4%
31日	21:30	金	USD	PCEコアデフレーター	前年比	6月	1.0%	1.0%	0.9%

一言コメント・・・注目のFOMCでは積極的な緩和の継続方針が示され、ドル売りが加速。主要通貨に対するドルの値動きを示すドル指数の7月の下落率は前月末比4.2%となり、2010年9月以来9年10カ月ぶりの月間下落率となりました。ただ、週末にかけてはポジション調整の動きからドル買い戻しが目立ちました。

先週の注目された要人発言

27日12:10 中国外務省「成都の米総領事館、北京時間午前10時時点で閉鎖」
 29日06:27 ムニューシン米財務長官「経済対策めぐる交渉で行うべき作業が多くある」
 29日14:36 雨宮日銀副総裁「当面は感染症の影響を注視し、必要ならば躊躇なく追加緩和を講じる」
 30日03:00 FOMC声明「FRBはこの厳しい局面で米経済を支援するためにあらゆる手段を行使し、雇用最大化と物価安定という目標を促進することに全力で取り組む」「新型コロナウイルスの感染拡大は、米国および世界中で多大な人的および経済的苦難をもたらしている」
 30日03:39 パウエルFRB議長「力強い景気回復を確実にするため必要な限りあらゆる手段を行使することにコミット」「今後の経済の行方は非常に不確実」「現在の景気の落ち込みは深刻。回復には財政と金融政策による支援が必要」「今回のFOMCでは長期目標強化の可能性を巡り集中的に議論した」「景気回復には長い時間がかかる」
 30日09:17 財務省幹部「引き続き緊張感を持って為替市場の動向を注視」「為替の水準についてはコメントしない」
 30日21:56 トランプ米大統領「人々が適切に、安全に、支障なく投票できるまで選挙を遅らせてはどうか?」「2020年の選挙は最も不正確で不正なものになるだろう」
 31日11:32 麻生財務相「引き続き緊張感を持って為替相場動向を注視する」「円高円安に関係なく、貿易収支に差はない」「安定が極めて大事」
 31日16:36 岡村財務官「足元のマーケットの状況を受けて今回三者会合を開催した」「市場の安定は重要であり、引き続き注視していく」「今朝の麻生財務大臣の発言は円高を容認しているわけではない」

一言コメント・・・米中対立の深刻化や新型コロナ感染拡大に伴う世界経済の先行き懸念から、世界的に株価が軟調に推移しました。トランプ米大統領がツイッターで米大統領選挙延期の可能性に言及すると、政治的な混乱への懸念から米国株はさらに売られる展開となりました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
3日	23:00	月	USD	ISM製造業景況指数	*	7月	52.6		53.6
4日	13:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	0.25%		0.25%
5日	21:15	水	USD	ADP雇用報告	前月比	7月	236.9万人		120.0万人
5日	23:00	水	USD	ISM非製造業景況指数	*	7月	57.1		55.0
6日	15:00	木	GBP	BOE政策金利	*	*	0.10%		0.10%
7日	21:30	金	CAD	新規雇用者数	*	7月	95.29万人		39.00万人
7日	21:30	金	USD	雇用統計NFP	前月比	7月	480.0万人		167.5万人

今週の注目は・・・米雇用統計

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。